（別紙4（2））

事業所名　グループホーム　さわふじ

作成日：　平成　22年　　1月　　7日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	**○災害対策** 火災や地震、水害時に利用者が安全に避難出来るようマニュアルはあるが、訓練の実施がされていない。地域との協力体制も必要。	①職員が、避難方法を身につける。 ②近所の協力が得られるよう体制を作る。	①マニュアルを見直し、避難訓練を実際に行う。 ・近隣住民、行政を巻き込み行ってみる。 ・運営推進委員の意見や協力を得る。 ・職員が災害を常に意識するようにする。	3ヶ月
2	33	**○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援。** 重度化、終末期ケアへの体制が整っていない。	①職員の意識、技量が向上できる。 ②看取り指針の作成ができる。 ③入居者、ご家族が安心してホームの利用ができる。	①医師や看護師と共に、勉強会や交流会を行い、終末期に向けての意識や知識を高める。 ②ご家族と終末期に向けての認識を近づける。ケアプランを活用する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。